	メンタルヘルス	2	現在の職員を取り巻く環境はストレス要因が増大しているという状況を踏まえ、メンタルヘルスに関する理解を深めるとともに、精神的な健康問題の発生の防止などストレスへの対応の在り方等について考える契機となるよう、講義及び演習を行う。
	接遇	1.5	介護施設や地方自治体への派遣など実地において学ぶことを念頭に、行政サービスの受け手である国民等にいかに向かい合うべきか考え学ぶ。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション等	9	
合　計　191時間			

㈱　それぞれの科目につき、講義、討議、実習等の技法を組み合わせて実施している。

ウ　３年目フォローアップ研修

将来、本府省において政策の企画・調整の衝に当たることが見込まれる採用３年目の者を対象に、４コースに分けて実施している（４日間）。

平成21年度は、研修日程を平成20年度より１日延長して４日間とした上で、現職の事務次官による「行政官の在り方」、研修員８～９人の班別に２年間の公務員生活について発表・意見交換を行う「公務員としての２年間を振り返る」、社会問題の解決に事業方式で取り組む社会起業家による講義「市民社会とのパートナーシップ」などからなるカリキュラムにより実施した。

エ　行政研修（課長補佐級）

本府省の課長補佐級の職員を対象に５コース実施している（８日間）。

平成21年度は、東京大学公共政策大学院との共催による「行政に対する信頼」をテーマとするシンポジウム、歴史的意義の大きい行政事例を題材とした「行政政策史」、行政課題等について多様な視点から班別に討議する「個別政策研究」のほか、「職業と倫理」に関する講義・演習、「コーチング」、「古典に学ぶ」などからなるカリキュラムにより実施した。

オ　行政研修（課長補佐級）中国行政学院派遣コース及び韓国中央公務員教育院派遣コース

本府省の課長補佐級の職員を対象に、中国及び韓国への派遣研修を実施している。

平成21年度は、日中の行政官の意見交換や中国企業等への訪問などを行う派遣研修を１コース実施するとともに（訪問先は、北京及び甘粛省）、日韓の行政官の意見交換や韓国の行政機関等への訪問などを行う派遣研修を１コース実施した（訪問先は、ソウル特別市及びクワチョン市）。

カ　行政研修（課長補佐級）科学技術・研究振興コース

各府省の試験研究機関等に勤務する室長級研究職員及び本府省の科学技術関連の行政部局に勤務する課長補佐級職員を対象に１コース実施している。

平成21年度は、「科学技術の在り方」、班別に討議する「個別事例研究」、「メンタルヘルス」の講義などからなるカリキュラムにより実施した。

キ　行政研修（課長級）

本府省の課長級職員を対象に４コース実施している（４日間又は１週間）。

平成21年度は、「公務員の在り方」、今後の国際情勢と日本外交、我が国の財政等をテーマとした「政策課題研究」、「古典に学ぶ」のほか、人事管理・組織管理を考える「マネジメント研究」などからなるカリキュラムにより実施した。

なお、このうちの２コースは、参加しやすい日程を選択できるよう、通常平日１週間の日程を水曜日～土曜日の４日間で実施した。

ク　行政研修（係員級特別課程）

Ⅱ種試験又はⅢ種試験等により採用された係長昇任直前の職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者又はその選抜の候補となる勤務成績優秀者を対象に２コース実施している（２週間）。

平成21年度は、「行政政策史」、「公共政策立案の基礎」などからなるカリキュラムにより実施した。

ケ　行政研修（係長級特別課程）

Ⅱ種試験又はⅢ種試験等により採用された本府省の係長級の職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者を対象に２コース実施している（２週間）。

平成21年度は、「行政政策史」、「公務員と職業倫理」、「コーチング」などからなるカリキュラムにより実施した。

コ　行政研修（課長補佐級特別課程）

Ⅱ種試験又はⅢ種試験等により採用された本府省の課長補佐級の職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者を対象に２コース実施している（２週間）。

平成21年度は、「これからの公務員の在り方」、「政策課題研究」、「職業と倫理」、「古典を学ぶ」等からなるカリキュラムにより実施した。

特別課程の係長級及び課長補佐級においては、研修員の所属府省における今後の育成の参考に資するため、研修期間中のレポートの内容、研修への参加状況等を通じて、研修員の能力・適性等について評価を行った。

サ　行政フォーラム（課長級）、行政フォーラム（本府省幹部級）

行政フォーラム（課長級）は、本府省の課長級職員に研修機会を提供する場として開催しており、各界の著名な講師による講義と意見交換を目的として、夕刻から人事院の会議室において、約３時間という形式で12コース実施した。

行政フォーラム（本府省幹部級）は、本府省の局長、審議官級職員を対象として、これからの行政と行政官の在り方を基本に立ち返って考え、意識改革を図るため、各界の有識者からの講義と意見交換を行うねらいで２コース実施した（表２－３）。

［表２－３］　平成21年度行政フォーラムのテーマ及び講師

（課長級）

実施回	テーマ	講師	
第77回	グローバル経済・金融危機と日本経済	五十嵐敬喜	三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社調査部長
第78回	ロシアの政治・経済の動向	木村　汎	北海道大学名誉教授
第79回	オバマ政権とアメリカ合衆国最高裁人事　大統領、最高裁、憲法	阿川　尚之	慶應義塾大学総合政策学部教授
第80回	中国の現状および日中関係等	高原　明生	東京大学大学院法学政治学研究科教授
第81回	加盟国からみたＥＵ～リスボン条約以前と以後～	中村　民雄	東京大学社会科学研究所教授
第82回	水の安全保障戦略機構～国民と行政の新たな関係～	竹村公太郎	財団法人リバーフロント整備センター理事長
第83回	ＥＵのガバナンスと政策過程、その現状と課題～政治学的な観点から～	福田　耕治	早稲田大学政治経済学術院教授